

今月のトピックス

- ジカウイルス感染症(輸入例)の報告が 1 件ありました。
- 咽頭結膜熱の報告が例年より多くなっています。
- 流行性耳下腺炎の報告が例年より多い状態が続いています。
- 流行性角結膜炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が例年より多くなっています。

全数把握の対象

【6 月期に報告された全数把握疾患】

腸管出血性大腸菌感染症	7 件	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7 件
E 型肝炎	1 件	急性脳炎	3 件
A 型肝炎	2 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
ジカウイルス感染症	1 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む)	4 件
ボツリヌス症	1 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 件
マラリア	2 件	侵襲性肺炎球菌感染症	13 件
レジオネラ症	2 件	水痘(入院例に限る)	4 件
アメーバ赤痢	4 件	梅毒	15 件
ウイルス性肝炎	1 件		

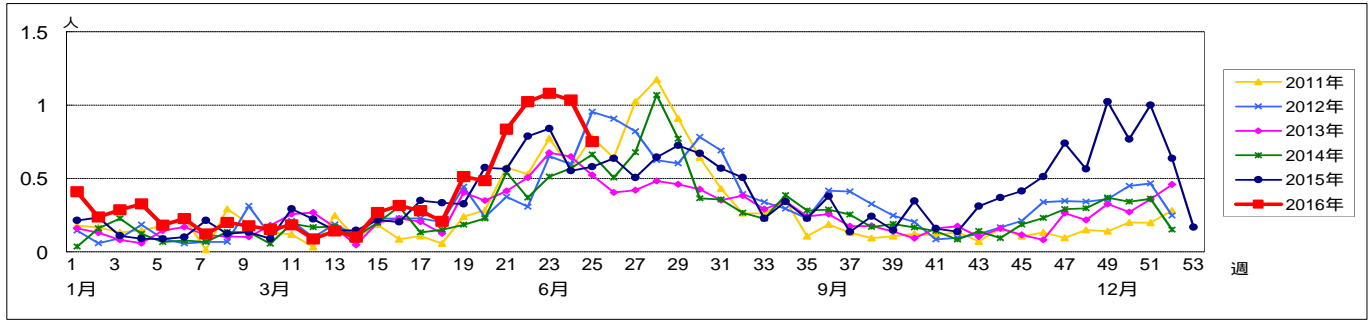
- 1 腸管出血性大腸菌感染症:O157 が 5 件、O115 が 1 件、O26 が 1 件報告されています。O157 のうち 2 件は同居家族です。
- 2 E 型肝炎:1 件の報告があり、国内での経口感染が推定されています。
- 3 A 型肝炎:2 件の報告があり、いずれも感染原因は不明で、ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 4 ジカウイルス感染症:中南米の流行地域での蚊の刺咬歴のある帰国者で 1 件の報告がありました。
- 5 ボツリヌス症:4 か月の乳児で 1 件の報告があり、感染経路は不明です。
- 6 マラリア:2 件の報告があり、それぞれウガンダ、ガーナからの帰国者でした。
- 7 レジオネラ症:2 件の肺炎型の報告があり、いずれも感染経路等不明でした。
- 8 アメーバ赤痢:4 件の報告があり、2 件は国内での性的接触が推定され、2 件は感染経路等不明でした。
- 9 ウイルス性肝炎:1 件の B 型の報告があり、中国での性的接触によるものと推定されます。
- 10 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:7 件の報告があり、うち 5 件は以前からの保菌で、2 件はドレーン、手術部位からの感染と推定されます。
- 11 急性脳炎:3 件の乳幼児の報告がありました。いずれも病原体不明です。
- 12 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:A 群が 1 件、G 群が 1 件報告され、創傷感染が推定されています。
- 13 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む):AIDS の報告が同性間の性的接触にて 1 件、無症状病原体保有者の報告が同性間の性的接触にて 2 件、その他の報告が感染経路等不明にて 1 件ありました。
- 14 侵襲性インフルエンザ菌感染症:2 件の報告があり、いずれもワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 15 侵襲性肺炎球菌感染症:乳児は 1 件の報告がありワクチンは 4 回目が未接種、幼児は 3 件の報告があり 4 回のワクチン接種歴が確認されました。高齢者は 6 件の報告があり、うち 2 件はワクチン接種歴が確認されましたが、4 件についてはワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 16 水痘(入院例に限る):小児の報告が 2 件、成人の報告が 2 件ありました。
- 17 梅毒:15 件の報告(無症状病原体保有者 6 件、早期顕症梅毒 I 期 7 件、早期顕症梅毒 II 期 2 件)があり、うち 12 件が国内感染例で、3 件は感染地域不明でした。感染経路は 11 件が性的接触、4 件が感染経路不明でした。

平成 28 年 週 - 月日対照表

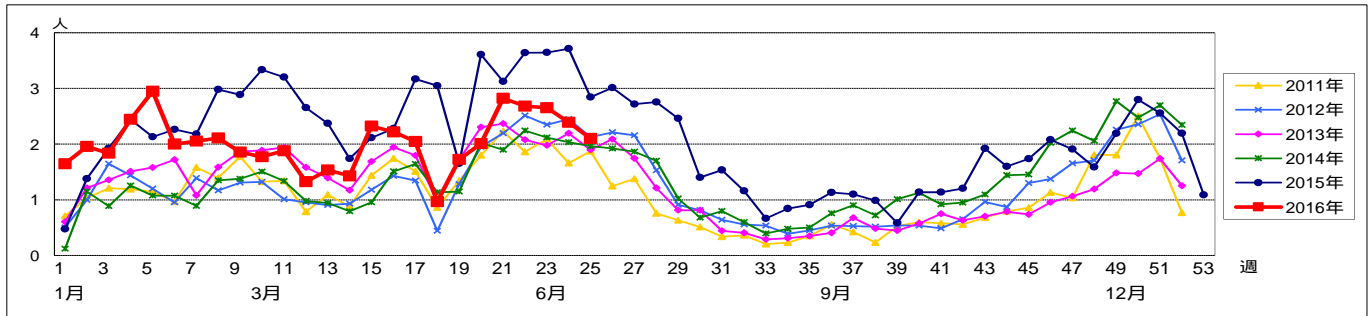
第 22 週	5 月 30 日～6 月 5 日
第 23 週	6 月 6 日～12 日
第 24 週	6 月 13 日～19 日
第 25 週	6 月 20 日～26 日

定点把握の対象

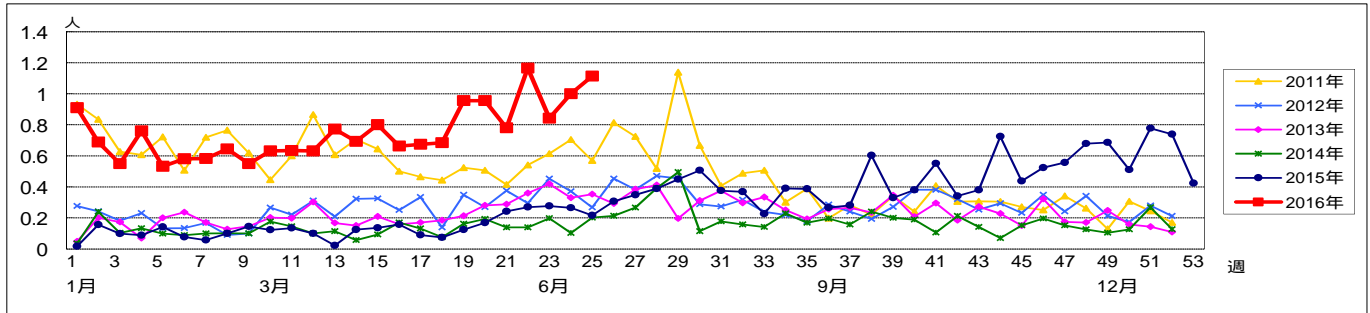
- 1 咽頭結膜熱:第 23 週で定点あたり 1.08 をピークとして推移しています。例年に比べて報告が多い状況が続いています。



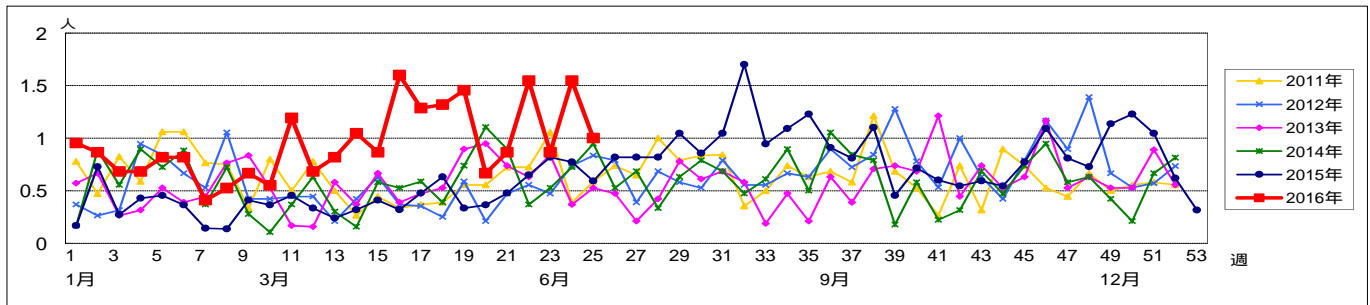
- 2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎:第 21 週で定点あたり 2.82 でしたが、その後、第 24 週で 2.39、第 25 週で 2.10 と減少傾向にあります。



- 3 流行性耳下腺炎:第 25 週で定点あたり 1.11 と例年に比べて報告が多い状態が依然として続いています。



- 4 流行性角結膜炎:第 24 週で定点あたり 1.55、第 25 週で 1.00 と例年に比べて報告が多い状態が続いています。



- 5 性感染症:5 月は、性器クラミジア感染症は男性が 30 件、女性が 16 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 6 件、女性が 4 件です。尖圭コンジローマは男性 5 件、女性が 8 件でした。淋菌感染症は男性が 14 件、女性が 1 件でした。
- 6 基幹定点週報:無菌性髄膜炎は第 24 週 0.25 と今年初めて報告がありました。マイコプラズマ肺炎は第 22 週 0.50、第 23 週 0.33、第 24 週 0.50、第 25 週 0.00 と報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は第 22 週 0.50、第 23 週 1.00、第 24 週 0.25、第 25 週 0.33 と報告されています。細菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 7 基幹定点月報:5 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 6 件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 2 件、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。  
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>